

秋さけ資源利用配分適正化事業調査—抄録—

黄金崎 栄 一

発 表 誌 名

平成5年度秋さけ資源利用配分適正化事業報告書（青森県）

抄 録

1. 追跡放流調査

青森県西津軽郡車力地区で10月上旬から12月上旬にかけて、トリプルタグを装着して573尾のサケ親魚の標識放流を行った。

計画放流尾数は600尾、放流実施尾数は573尾で達成率は95.9%であった。

再捕尾数は全体で249尾、再捕率43.5%（沿岸域225尾・河川24尾）で内県内再捕165尾66.3%、県外再捕84尾33.7%であった。

2. 大量放流調査

青森県西津軽郡深浦地区の入前漁場・横磯漁場・月屋漁場の3漁場からディスクタグを装着して389尾のサケ親魚の標識放流を行った。

計画放流尾数は500尾、放流実施尾数は389尾で達成率77.8%であった。

再捕尾数は全体で136尾、再捕率35.0%（沿岸域118尾・河川18尾）で内県内再捕35尾、25.7%、県外再捕101尾74.3%であった。

3. 延縄放流調査

青森県太平洋南部沿岸域でディスクタグを装着して70尾のサケ親魚の放流を行った。

計画放流尾数は360尾、放流実施尾数は70尾で達成率19.4%であった。

再捕尾数は全体で21尾、再捕率30.0%（沿岸域19尾・河川2尾）で内県内再捕2尾、9.5%、県外再捕19尾90.5%であった。

4. 本調査から本県に回遊するさけは本県産と他県産の混成群と推察されるが、その量的推定は単年度の調査のみでは難しいと考えられ、今後より多くの資料を蓄積する必要がある。